

参加者からのご意見・ご提言

【栗山町第7次総合計画って?】

「栗山町自治基本条例」および「栗山町総合計画の策定と運用に関する条例」に基づき「まちの将来像（ビジョン）」を定め、その具体化に向けた政策などを効率的かつ効果的に実行するための計画です。町が定めるすべての計画の最上位にあり町が進めるすべての政策などは総合計画が根拠となります。



重点①「子どもたち」が元気なまち (移住・定住、子育て、教育など)

【主なご意見・ご提言】

- ・もっと移住後のサポートが必要と考える
- ・ICT教育に関わっている教員の負担が増えると思うので、専門職員の採用は考えてみては
- ・若い世代の親に向けては、栗山高校の魅力や町長や教育長から直接伝えることで効果が大きいと思う

重点②「ひと」が元気なまち (医療、健康推進、デジタル化など)

【主なご意見・ご提言】

- ・日赤病院改築時に敷地内に薬局を移設ができないか
- ・日赤病院へのバス送迎を検討してほしい
- ・認知症の高齢者が入所できる施設を増やしてほしい

重点③「地域」が元気なまち (自然環境保全、ごみ対策、都市基盤など)

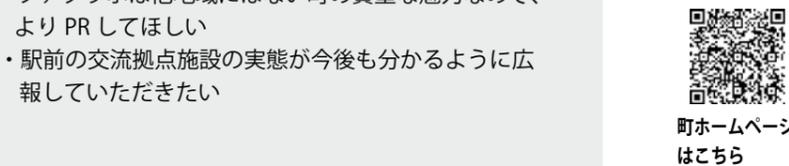
【主なご意見・ご提言】

- ・高校も含めた自然体験教育を目指してほしい
- ・大井分の墓園の安全性を確認してほしい
- ・杵臼本線の早期改修をお願いしたい

重点④「産業」が元気なまち (農業、観光・商工業、雇用など)

【主なご意見・ご提言】

- ・総合土地改良センター設置の際は、町民の意見も反映できるようにしてほしい
- ・ファブラボは他地域にはない町の貴重な魅力なので、よりPRしてほしい
- ・駅前交流拠点施設の実態が今後も分かるように広報していただきたい



問 王子の森
今後の活用について

湯地にある「王子の森」の現状はどうか。研究所は解体されたと思うが、あそこの敷地の活用について将来的な考え方や現在の進めていきます。

答 王子の森は24ヘクタールの広大な敷地で、町民の皆さんの憩いの森として50年間にわたり愛されてきた大切な場所です。既に歴史ある研究所は解体し、森林も伐採されており、所有者の王子ホールディングスは、今後葉草畑として整備するとの話です。ただ、全ての敷地を使うわけではないので、一部でも町に譲っていたら

紙面の都合上、懇談内容の一部のみを掲載しています。町ホームページでは、懇談会の議事録や町からの提供資料を閲覧できます。

町ホームページはこちら



栗山町第7次総合計画がテーマ まちづくり懇談会

町民の声を広く行政に反映させることを目的とした懇談会が10月～11月にかけて、24会場で行われました。来年度からスタートとなる「栗山町第7次総合計画」の原案についての質問・意見、地域課題などについて町民の皆さんと佐々木学町長が懇談を行いました。

問 道の駅について

長沼町のように、今後の道の駅を作る考えはあるのか。栗山公園周辺に作れば

答 今回の女子野球の取り組みでは、道内ほとんどのメディアに取り上げてもら

問 新規就農の支援について

新規就農者の受け入れを行っていると思うが、今後少しでも良い区画・土壌で就農者を受け入れられるように支援して頂ければと思う。

答 道の駅は、現在構想として検討しています。三笠く安平間に道の駅がないので、栗山公園で道の駅ができれば、滞在型施設として他地域との差別化もできます。現在、国道234号線の4車線化に向けて取り組みしており、それに合わせて整備を行いたいと考えています。現在は栗山駅南交流拠点施設が4月にオープンするので、まずはそちらの運営をしっかりと進めていきたいと思っています。

問 読書の推進について

図書館で色々なコンテンツや賞などを募集しているが、もっと力を入れてほしい。本を読んで終わりはなく、小さいころからずっと読書に興味を持ってもらえればと思う。

答 図書館や読み聞かせの会とも連携し、より良い本の選定を進めています。また、読書感想文の作成など、小学校でも取り組みを行う